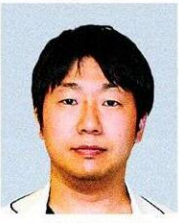


やまなし  
医療最前線  
症状に潜む

県立中央病院から

〈219〉



小林寛明医師

医療機関への受診を検討した方が良さそうだ。  
前回掲載の「突然の胸痛」同様に息切れが症状として表れる病気はさまざま。山梨県立中央病院呼吸器内科

### 息切れの原因となる肺の病気と特徴

**間質性肺炎** 原因不明であることが多い。坂道や階段などを動いた際に息切れを感じやすい

**慢性閉塞性肺疾患 (COPD)**  
主な原因は喫煙。せき、たんのほか、呼吸のたびに「ゼーゼー」「ヒューヒュー」という「喘鳴」を伴うことがある

**ぜんそく** 主にアレルギーで気道の炎症が起き、せき、喘鳴の症状が出る。夜間や早朝に症状がひどくなる傾向がある

**肺がん** 腫瘍による気道の圧迫、胸水により息切れを感じる。血が混じったたんが出ることもある

炎症が肺に起こり、徐々に肺が硬く縮む（線維化）す。COPDは喫煙により肺胸が破壊され、気管支も狭くなることで息切れが起きる。安静時には症状はなくなることで息切れが起き

している。

## 息切れ数日続いたら受診 肺に原因がんの恐れも

息切れは階段の上り下りなどの運動直後に感じることもあるが、加齢による体力低下と言ってばかりもいられない。何らかの病気の可能性があり、症状が軽くても数日続くようであれば

の小林寛明医師は、肺に原因があり、呼吸器内科を受診する主なケースとして「間質性肺炎」「慢性閉塞性肺疾患 (COPD)」「ぜんそく」「肺がん」を挙げる。間質性肺炎は原因不明の療が進められる。

禁煙していても過去の喫煙歴により息切れが進行してることがある。ぜんそくを伴う症例などには、吸入薬3剤の合剤が2019年に発売となっており、このほかの治療薬剤も登場する。腫瘍が胸の真ん中に近いと気道を圧迫することがあり、肺がんにより胸水がたまって肺がつぶされることもあるためだ。息切れが出てくる時点で進行がんの可能性が高いが、抗がん剤治療の進歩は目覚ましい。同院ではゲノム解析センターによる遺伝子変異の解析も含め、診断から治療までできるだけ早く行っている。

「息切れの原因は範囲が広く、息切れの強弱も人によって異なる」と小林医師は解説。医師は息切れ以外の症状やさまざまな検査によって原因を探るとい

ぜんそくは主にアレルギーが原因で、気道に炎症が起こって息切れやせきといった症状が出る。症状に波があり、息切れ（ぜんそく発作）がなくなっても、炎症をとる治療をしないと気道がさらに狭くなる可能性がある。重症・難治性のぜんそくには抗体療法という注射製剤が使用可能で、年々薬剤の種類も増えている。

息切れがきっかけで肺が狭まる可能性があります。第2、4木曜日に掲載